

十分に活用できていなかった既存システムの有効活用方法を発見するとともに、BIツールの活用により、農業経営に必要なデータの可視化を実現。本格導入に向けて計画を策定。

カンドーファーム株式会社				<a href="https://www.kandofarm.co.jp/">https://www.kandofarm.co.jp/</a>	
本社所在地	松江市古曾志町307-1	資本金	500万円	事業概要	農産物の生産及び販売
代表者名	田尻一輝	従業員数	7名		
設立年	2008年	業種	農業		

## 背景

- 営農支援ツールである『アグリノート（ウォーターセル社）』を利用してきているが、十分に活用しきれておらず、見たいデータを見るためにExcelでの加工など多くの手作業が発生しており、業務効率性に課題を感じていた。
- デジタルに詳しい人材がないため、どのように効率化していくのが良いのか分からない状況にあった。
- 当社にとって最適なデジタルツールの選定を伴走支援によって手伝ってもらいたいと考えていた。

## 計画の骨子

### 目指したい姿と既存システムのGapを整理

- ▶ デジタルおよびデータを活用して、「従業員の育成」、「収支情報の閲覧」、「在庫管理」を実現することを目指した。
- ▶ 既存システムの『アグリノート』で、できることとできないことを整理した。

### 実現方法の比較

- ▶ データ活用手段を比較検討し、『アグリノート』と『Power BI（Microsoft社）』の組み合わせを試行することとした。

### 試行を通じた導入計画

- ▶ 『アグリノート』の使用していなかった機能の活用と『Power BI』によるデータ可視化によって、実現したいことが実現できることを実証した。
- ▶ 導入コストを試算するとともに、導入スケジュールを立案した。